



KBIの神学的座標軸

関西聖書学院：歴史神学講義

一宮基督教研究所

安黒務

KBIの神学的座標軸

- 従来は、宇田進「福音主義キリスト教と福音派」をテキストとして、
- 年間を通して「福音主義神学」という名前で
- 「教理史・現代神学」という歴史神学の学びを私たちのルーツとアイデンティティを探求し、確立する科目として、
- 今回は、二回の講義なので、「KBIの神学的座標軸」として、概略的学びを

序：ルーツについて

1. KBIは、いくつか団体の共同経営
2. 多少の幅と歴史の相違はある - ここではJECを中心に
中心に見ていく(扱える時間の制約の関係)
3. JEC スウェーデン・オレプロ・ミッション(インター
アクト) スウェーデン・バプテスト諸教会
4. SB アメリカ・バプテスト 会衆派ピューリタン
(英国宗教改革)
5. 宗教改革 古代の正統信仰 初代教会の信仰
キリストの死・葬り・復活の事実

使徒的キリスト教としてのKBI

1. 聖書における創造・福音の記述
2. 神話・創作とみる立場
3. 事実の記述・描写とみる立場

古代教会の正統信仰としてのKBI

1. 異端：主要教理の軽視
2. 正統：共同性、古代性、一致同意
 1. 三位一体論
 2. 神人二性一人格論

宗教改革の子孫としてのKBI

1. 中世カトリックを背景にした宗教改革
2. 改革の三大原理
 1. 聖書のみ
 2. 信仰義認
 3. 聖徒の交わりとしての教会

英国プロテスタントからの分岐としての のKBI

1. ルター派、カルヴァン派、アナバプテスト派、
英国のプロテスタント
2. 英国のプロテスタント(ピューリタン運動)
3. 会衆派ピューリタン、バプテスト派
4. 第二ロンドン告白: ウェストミンスター信仰
告白との関連

予定論論争におけるKBI

1. アルミニウス主義とカルヴァン主義
2. 人間の自由意志と神の主権
3. 聖書は神学よりも大きい
4. 両者を包摂していく

簡易信条主義としてのKBI

1. 信条
2. 信条主義の教会
3. 簡易信条主義の教会

正統主義神学との連続性をもつKBI

1. 宗教改革の遺産の体系化
2. カルヴァン トゥレタン ホッジ
3. ストロング、シーセン エリクソン

敬虔主義運動の体質をもつ群れとしてのKBI

1. 正統主義神学の正統的实践
2. 敬虔主義運動
3. ケズィック運動のメッセージ
4. ウォッチマン・ニー「キリスト者の標準」
 1. ケズィック運動のメッセージとW. ニーの分離
 2. W. ニーの人間論・教会論・終末論等には問題あり
 3. 異端: ウィットネス・リーと日本福音書房

自由教会としてのKBI

1. 教会と国家とが明確に分離した社会
2. 独立と自治を有し、目的を同じくする者の自発的共同体

福音主義同盟の一員としてのKBI

1. 啓蒙思潮
2. 自由主義神学:「適応・適合」の道
3. 福音主義神学:近代理性との戦い

ローザンヌ運動の推進者としてのKBI

1. プレ・ローザンヌ
2. ローザンヌ会議
3. ポスト・ローザンヌ

序：アイデンティティについて

1. ルーツとアイデンティティの関係
2. 2000年の歴史の中の50年の運動
3. 「十字架と聖霊」：我喜屋師
4. 十字架とは：義認論・聖化論
5. 聖霊とは：聖霊論の中の賜物論

十字架のメッセージ

1. スウェーデン・バプテスト: 漸進的聖化論
2. 塩屋の神学校: 危機的聖化の強調
3. 折衷的理解: 「キリスト者の標準」
4. ローカル・チャーチ運動の顕在化
5. 「ウォッチマン・ニー」ブーム去る
6. しかし、敬虔主義運動の遺産の継承は大切

聖霊のメッセージ

1. 歴史的背景

1. カトリック:
2. 保守プロテスタント福音派:
3. ペンテコステ福音派:

2. 今世紀の展開

1. ペンテコステ運動
2. カリスマ運動
3. 第三の波の運動

聖霊のメッセージ

1. 表現の多様性
2. KBI: 「聖霊のバプテスマもしくは満たし」
3. 保守福音派とペンテコステ福音派の真ん中: 二股、架け橋的位置
4. 異言理解: “アバ”意識からの派生語 - 霊による祈りと賛美
5. 「聖霊の満たし」の真の目的は何か

序：継承・深化・発展への輪郭

1. 意味ある選択肢、市民権の獲得
2. 神学的特質の確認

聖書的事であること

1. 教派的伝統・特色の盲目的継承ではなく
2. 聖書的事適格性の絶えざる吟味
3. 伝統の良き部分の継承・深化・発展を目指す

共同的であること

1. 分派的・自己流ではいけない
2. つまり、KBI独自の表現・体験的証しを
3. 教派を越えて理解されうる、包括的な神学の中に位置づけ、表現していく
4. 特に、十字架経験と聖霊経験において
5. 共同性を反映させていく努力
6. そして、次の世代へ継承していく

現代的適応性

1. 聖書の使信をオウム返しで語る：シーセン
2. 今日的情況に即して、新しく語る：エリクソン
3. 集会やムーブメントからの刺激・メッセージの収集とともに
4. KBI関連の神学書の収集・継続的研究

自己革新性

1. 非批判的伝統主義ではなく、
2. 「改革された教会は常に改革され続ける」べき
3. 批判的学問性：KBIの流れの検証力
 1. 時代遅れのもの、変革すべきもの
 2. 継承・深化・発展させるべきもの

M. J. エリクソンの神学

1. KBIの神学的座標軸となりうる神学書
2. M. J. エリクソンの組織神学、書籍群
 1. スウェーデン・バプテスト系
 2. 牧会者のハートと神学者の知性
 3. 四つの特質を宿す
3. 福音派のスタンダードとしてのKBI
4. カリスマ的なことにオープンなエヴァジェリカルとしてのKBI

結び:ICIの召しと機能

1. KBIでの歴史神学・組織神学の講義
 - － テープ、MD、ブックレット、資料集
2. インターネットを通しての継続神学教育
 - － 電子メール講義
3. 翻訳奉仕
 - － M.J.エリクソン著作集:20数冊

ICIの働きの理解と支援のお願い

- 「インドネシア宣教支援」等と同様の意識をもって、
- KBIの神学の研究機関としての「一宮基督教研究所」の働きへの
- 理解と支援をよろしくお願いします。

一宮基督教研究所

〒671-4135

兵庫県宍粟郡一宮町安黒332 : 安黒務

Tel & Fax. 0790-72-0235(昼), 63-0252(夜)

郵便振替:「一宮基督教研究所」01110-0-15025

aguro@mth.biglobe.ne.jp

<http://www2s.biglobe.ne.jp/~aguro/index.htm>
